



# みやかわ

会津美里町立宮川小学校

令和3年度学校だよりNo.5

令和3年5月6日

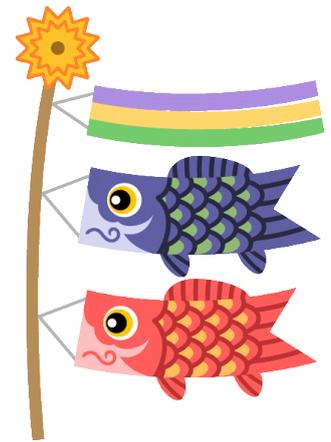
会津美里町立宮川小学校長 星 潔

## さあ5月です！

コロナ禍ではありましたが、連休においては、家族の絆は少しでも深まりましたでしょうか。子どもたちの表情を見ますと、元気に楽しく過ごせたようです。また、連休中は大きなけがや事故もなく、安全に子どもたちが過ごすことができましたこと、心より感謝いたします。ありがとうございました。

さていよいよ5月です。今月は運動会など、大きな行事も予定されています。運動会は、子どもたちの成長にとって大きな位置を占める行事です。しかし今後の新型コロナウイルス感染症の状況によっては、延期や中止等の判断を下さなくてはならないことも考えられます。ご了承いただければと思います。

今月も「みんなが やさしく かしこく わざをみがく 大好き 笑顔あふれる チーム宮川」に向かって、全職員、子どもたち、一丸となって取り組んで参りますので、チーム宮川の一員である保護者の皆様の、変わらぬご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



## G I G Aスクール！

文部科学省が打ち出したG I G Aスクール構想とは「児童生徒向けの1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化された創造性を育む教育を、全国の学校現場で持続的に実現させる」構想のことです。本校でも今年度よりタブレット1人1台環境の本格的なスタートを切ることになります。今年度のG I G Aスクール構想の本校のテーマは「やってみよう」です。まず、タブレットを操作する時間を授業の中に取り入れ、子どもたちにとって最適な学びができるようによさや課題を見つけ出ししていくために、使ってみることが大きな目標となります。しかし「やってみよう」とはとっても、タブレットを一人一人に使わせるというのは、簡単なことではありません。本校教員は日々の授業準備等の業務とともに、タブレットを使わせる準備をまた別に行わなければなりません。このコロナ禍ですから、まずは子どもたちがその学年で学ばなければならないことを、やり残しがないように確実にやっていくことが最重要です。それを最優先に考え準備をした上で、本校教員は「やってみよう」に向けて、様々なことをスタートさせようとしています。手前みそで申し訳ありませんが、これは本当に頭が下がります。まずは1学期に少しずつでも子どもたちがタブレットに触れる機会を設定していきたいと思いますのでご理解ください。

しかしICT活用は良い点ばかりではありません。スマホやSNSの子どもの利用には、様々な危険が潜んでいます。会津教育事務所のホームページには「会津版スマホ・SNS検定」が掲載されています。スマホ・SNSのトラブルなど必要な知識をクイズ形式で学べる「保護者向けの検定」で、子どもの年代別に出題分かれています。

「スマホ・SNS活用上級者」を目指して挑戦されてみてはいかがでしょうか。 会津教育事務所HP

(<https://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/430623.pdf>)



# 新型コロナウイルス感染症対策

連休に入り、福島県では連日50名程度の感染者が出ています。特に会津若松市では感染が広がりを見せています。学校では「うたしてマスク」(うがい、体温計測、消毒、手洗い、マスク着用、換気)を徹底し、感染予防に努めていきます。ご家庭でもよろしくお願いいたします。しかしながらこの状況では、いつ、どこで、誰が感染しても不思議ではないと思います。

今、新型コロナウイルス感染症は、どんなに気を付けていても、感染する可能性が0%ということはないと思います。もちろん私も「うたしてマスク」を実践しているつもりですが、外に出ないということはありませんし、買い物にも出かけます。そんな中、感染経路不明で感染することもあるかもしれません。もし私が感染したとします。報道では「会津美里町の小学校教員」と発表されるでしょうか。それとも「会津美里町校長」や「会津美里町小学校校長」でしょうか。「会津美里町小学校校長」の場合、個人がかなり特定されるでしょう。「氏名」等の個人情報分かるのも時間の問題のような気がします。そこからネットへの情報公開等があったのならば、私や家族は耐えられるのでしょうか。きっとコロナウイルスの病気よりも、そちらの方で心が病んでしまうのではないかと不安です。少なくとも私の心は耐えられないのではないかと思います。

感染者及びその家族等への差別・偏見・誹謗中傷などは、決してあってはならないことだと思います。「好んで感染したわけではない」「いつ、どこで、誰が感染してもおかしくないのがこの新型コロナウイルス感染症」だと思います。私たちは子どもたちに「いじめは絶対にあってはならないこと」「いつでも、どこでも、誰に対してもやさしい気持ちで接することの大切さ」について指導しています。日本全国の学校でも同じような指導をしていると思います。もちろんこれからも「新しい生活様式」に沿って、安全で健康な生活を送ることができるように指導をしていきます。万が一不幸にも、私たちにとって身近な方が感染してしまったときに、子どもたちの中でいじめなどが発生しないよう、道徳科の中で「いじめ未然防止に向けた授業」を行ったり、心の指導を行ったりするなど、私たち「チーム宮川」教職員は全力で子どもたちを守っていきます。保護者の皆様も、私たちにとって身近な方が感染してしまったときに、チーム宮川の仲間として、ぜひ一致団結して温かい心で見守ってほしいと思います。ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

## 校長のひとりごと

学校だより第4号で記述した通り、星家ではゴールデンウィークに「オンライン家族会」を実施してみました。無事に子どもたちも賛同してくれました。家族5人で話したのはお正月以来ということもあったからかもしれませんが、オンラインでどうなるかと不安も吹き飛び、思いのほか話が弾みました。周囲の人との触れ合いが難しい今の時代で、聞きなれた家族の声を聞くこと、安心して自分の話ができることは、子供たちにとっても、やはりよいものだったと思います。人とつながるうれしさを再確認できたようです。対面で話ができないは残念ですが、オンライン上でも顔を見て、声を聞き、コミュニケーションを取っていきたくと改めて感じました。

保護者の皆様も、コロナ禍で、何かと塞ぎがちになってしまいそうな時だからこそ、家族のコミュニケーションを大切にされていただければと思います。意外とあっという間に、子供たちの巣立ちはやってきます。今この瞬間の子どもたちとの時間、家族の時間を大切にしてください。

